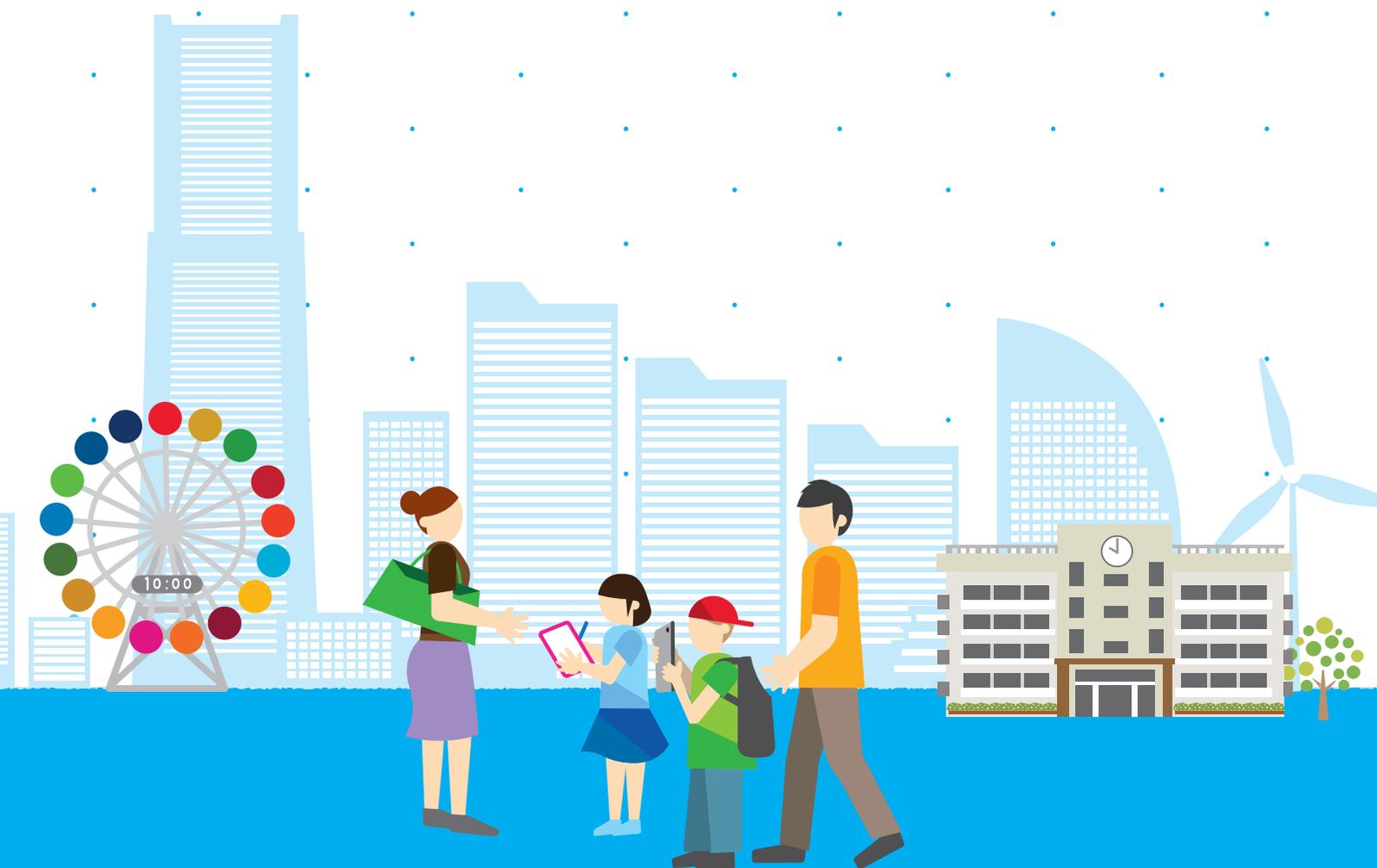


第3期  
横浜市教育振興  
基本計画  
2018-2022





# はじめに

## 「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」

これは、複雑で変化の激しい時代を見据え、未来を創る子どもたちを育むために策定した「横浜教育ビジョン2030」の「横浜の教育が目指す人づくり」の姿です。子どもの成長に関わる人とこの理念を広く共有しながら、解が一つではない課題に対し、失敗を恐れずに向き合う子どもたちを社会全体で育てていきたいと願い、策定しました。今回策定する「第3期横浜市教育振興基本計画」は、この「横浜教育ビジョン2030」の具現化に向けたアクションプランとなります。

近年の学校教育に対するニーズの変化や課題の複雑化・多様化の中で、学校の果たす役割も変化しています。また、本計画期間中には、新たな学習指導要領の全面実施という大きな節目を迎えます。「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という「社会に開かれた教育課程」の実現のためには、学校と家庭が密に連携を図ることはもちろん、学校教育を学校内に閉じずに、学校と地域・社会が連携・協働しながら子どもを育てていくことが大きな鍵となります。

本計画の素案に対するパブリックコメントでは、本計画の遂行を力強く後押し頂いているご意見、ご自身やお子様がおかれている切実な状況や切なる願い、各施策への厳しいご指摘など、様々なご意見を頂きました。一つずつ貴重なご意見を拝見し、原案に反映できるかどうか、検討を重ねた上で本計画を策定しました。これからも保護者や地域の皆様と共に、未来を創る子どもたちを育てていきたいと、強く願っています。貴重なご意見を頂きましたことに、心より感謝申し上げます。

市立学校に通う約27万人の子どもたちのために、本計画に示す施策や取組を着実に進め、横浜の教育が日本の公教育を牽引するという気概をもちながら、よりよい学校教育を実現していきます。

2018年12月  
横浜市教育委員会

# 目 次

## 第1章 「第3期横浜市教育振興基本計画」について

1 計画策定の趣旨	2
2 横浜市が策定した他の計画等との関係	2
3 「横浜教育ビジョン2030」	3
4 計画の構成	3

## 第2章 基本的な方向性

1 基本姿勢	6
2 特に重視するテーマ	7

## 第3章 14の柱

1 計画体系	10
2 各柱の内容	
各柱のページの見方	12
<u>柱1 主体的な学び</u>	13
施策1 主体的・対話的で深い学びによる学力の向上	16
施策2 多様な教育的ニーズに対応した教育の推進	19
施策3 特別支援教育の推進	22
施策4 魅力ある高校教育の推進	26
<u>柱2 創造に向かう学び</u>	29
施策1 グローバル社会で活躍できる人材の育成	31
施策2 情報社会を生きる能力の育成	34
施策3 持続可能な社会の実現に向けて行動する力の育成	37
<u>柱3 支え合う風土</u>	40
施策1 豊かな心の育成	41
<u>柱4 学びと育ちの連続性</u>	44
施策1 つながりを重視した教育の推進	46
施策2 健康な体づくり	49
<u>柱5 安心して学べる学校</u>	53
施策1 安心して学べる学校づくり	54

柱6	<u>社会とつながる学校</u>	57
	施策1 地域との連携・協働の推進	58
	施策2 自主・自律的な学校運営の推進	60
柱7	<u>いきいきと働く教職員</u>	62
	施策1 教職員の働き方改革の推進	64
柱8	<u>学び続ける教職員</u>	68
	施策1 教職員の育成、優秀な教職員の確保	69
柱9	<u>安全・安心な環境</u>	72
	施策1 安全・安心な教育環境の確保	73
	施策2 学校施設の計画的な建替えの推進	75
柱10	<u>地域とともに歩む学校</u>	77
	施策1 学校規模の適正化	78
	施策2 地域の状況を踏まえた学校づくり	80
柱11	<u>市民の豊かな学び</u>	81
	施策1 生涯学習の推進	83
	施策2 図書館サービスの充実	85
	施策3 横浜の歴史に関する学習の場の充実	87
柱12	<u>家庭教育の支援</u>	88
	施策1 家庭教育支援の推進	89
柱13	<u>多様な主体との連携・協働</u>	91
	施策1 多様な主体との連携・協働の推進	92
柱14	<u>切れ目のない支援</u>	95
	施策1 福祉・医療との連携による支援の充実	96
	施策2 子どもの貧困対策の推進	97
3	指標一覧	98

## 資料編

1	教育基本法（抜粋）	102
2	基礎データ	104
3	パブリックコメントの結果	105
4	「横浜教育ビジョン2030」	108



---

# 第 1 章

---

「第3期横浜市教育振興基本計画」について

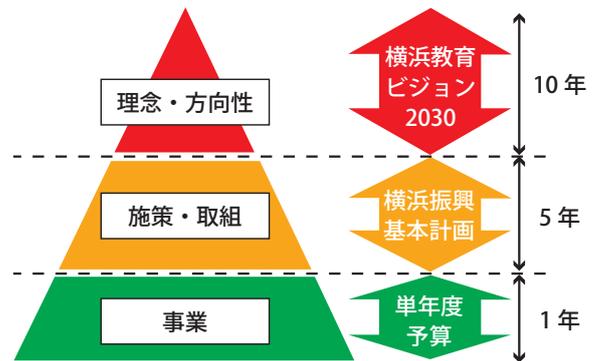
---

## 1 計画策定の趣旨

### (1) 本計画の位置付け

#### 【「横浜教育ビジョン2030」の具現化】

2030年頃の社会を展望し、横浜の教育が目指す人づくり、横浜の教育が育む力及び横浜の教育の方向性を示す「横浜教育ビジョン2030」（2018（平成30）年策定）の具現化に向けたアクションプランとして、今後5年間で進める施策や取組を「第3期横浜市教育振興基本計画」に定めます。



#### 【教育基本法に基づく法定計画】

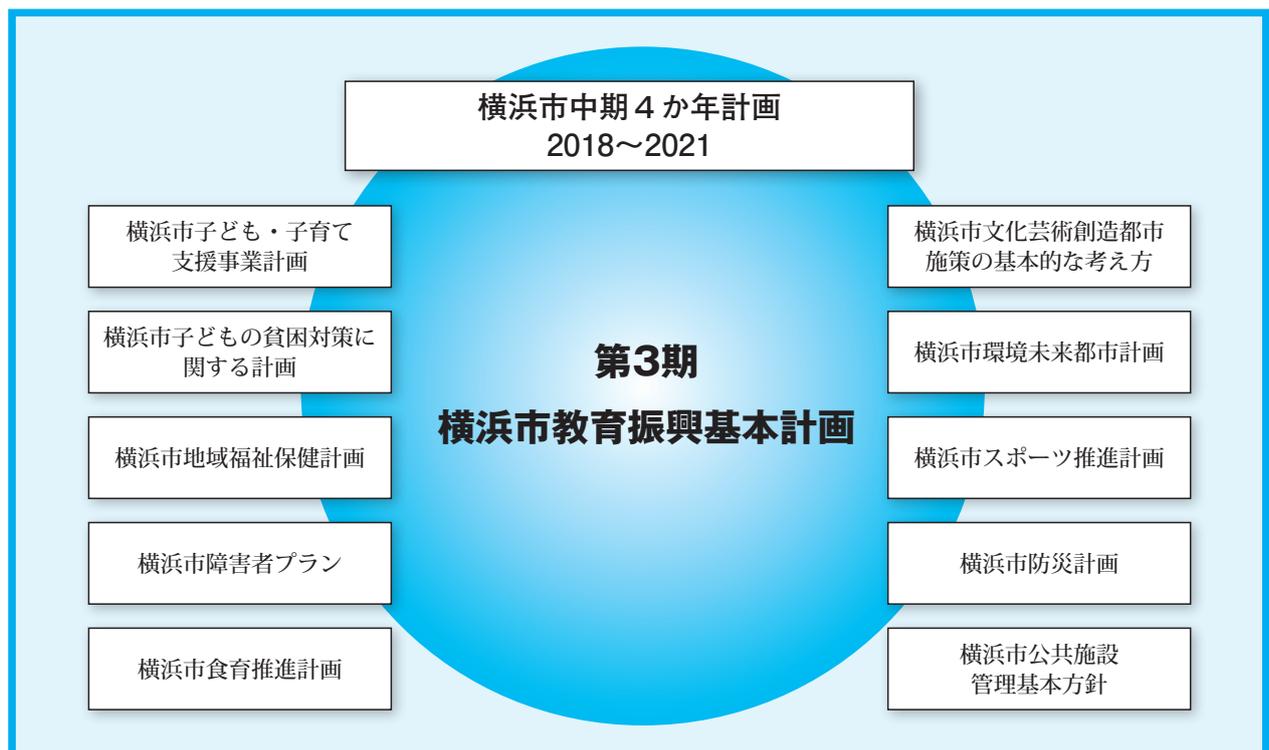
「第3期横浜市教育振興基本計画」は、教育基本法第17条第2項に基づく「地方公共団体における教育の振興のための施策に関する基本的な計画」として位置付けます。

### (2) 計画期間

5年間：2018（平成30）年度～2022（平成34）年度

## 2 横浜市が策定した他の計画等との関係

「第3期横浜市教育振興基本計画」の策定に当たっては、「横浜市中期4か年計画2018～2021」をはじめ、子育てや福祉等の各分野別の計画等と関連する部分について、整合を図っています。



### 3 「横浜教育ビジョン 2030」

#### 横浜の教育が目指す人づくり

## 自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人

#### 横浜の教育が育む力

「自ら学び 社会とつながり ともに未来を創る人」の育成を目指し、子どもに身に付けてほしい力を五つの視点「知」「徳」「体」「公」「開」で表し、相互に関連付けながらバランスよく育んでいきます。

#### 知 生きて はたらく知

- 基礎・基本を身に付け、自ら問題を発見し、よりよく解決する力
- 主体的に考え、意欲的に学び続ける力
- 知識や経験を活かし、知恵をはたらかせて生きる力

#### 徳 豊かな心

- 自分を大切にし、しなやかに生きる力
- 自分を律する態度と人を思いやる優しさ
- 「本物」に触れることで育む豊かな感性

#### 体 健やかな体

- 自ら健康を保持増進しようとする態度
- 体力づくりを通じ、心身ともにたくましく生きる力
- 生涯にわたって運動やスポーツに親しむ態度

#### 公 公共心と社会参画

- 自分の役割や働くことの意義を理解し、行動する力
- 横浜を愛し、地域や社会のために、他者と協働する力
- 夢や目標を持ち、よりよい社会を創造しようとする態度

#### 開 未来を開く志

- 自分を見つめ、多様性を尊重し、共生する力
- グローバルな視野を持ち、持続可能な社会の実現に向けて行動する力
- 進取の精神を持ち、新たな価値を創造しようとする態度

#### 横浜の教育の方向性 ～多様性を尊重し、つながりを大切にした教育を推進します～

##### 方向性1 子どもの可能性を広げます

柱1 主体的な学び

柱2 創造に向かう学び

柱3 支え合う風土

柱4 学びと育ちの連続性

##### 方向性2 魅力ある学校をつくります

柱5 安心して学べる学校

柱6 社会とつながる学校

柱7 いきいきと働く教職員

柱8 学び続ける教職員

##### 方向性3 豊かな教育環境を整えます

柱9 安全・安心な環境

柱10 地域とともに歩む学校

柱11 市民の豊かな学び

##### 方向性4 社会全体で子どもを育みます

柱12 家庭教育の支援

柱13 多様な主体との連携・協働

柱14 切れ目のない支援

### 4 計画の構成

「横浜教育ビジョン2030」が示す4つの教育の方向性と14の柱に基づき、「26の施策」を示します。施策ごとに、「指標」、「想定事業量」、「主な取組」を掲げ、PDCAサイクルに基づき、進捗管理を行います。



横浜教育ビジョン2030

第3期横浜市教育振興基本計画